

# 平成 29 年度伊那テクノバレー地域センター事業計画

## I 産学官交流事業

地域企業の研究開発テーマや技術ニーズを把握すると共に、大学、公設試等の技術シーズ情報を収集し、技術ニーズにあった技術情報を企業へ提供する。この活動を通じ更なる産学官連携のネットワークづくりを行い、技術・研究開発の促進を図る。また、異業種交流会などを開催し、地域企業のネットワークづくりの促進支援や新規連携プロジェクトの形成を行う。

### 1 地域産業活性化支援事業

地域協議会等を通じて把握した地域の産学官の抱える支援ニーズに応える産業振興事業等について、産学官の緊密な連携体制を強化して取り組む。

### 2 次世代経営者による異業種交流会

次世代を担うものづくりの経営者が、地元等で活躍する企業の経営者の講話や工場見学を通じて、自社の様々な課題解決や提携したい案件の情報収集等を行う情報交換会を開催する。具体的活動として、訪問先企業の経営者から取り組んできた企業経営のノウハウを学ぶとともに、参加者の交流を通じて、新ビジネス分野や新技術分野で連携できるテーマを見つけ、連携プロジェクトを企画・実施することに資するネットワークを形成し次世代産業の創出を目指す。

## II 新産業創出支援事業

地域企業における新分野進出や新技術開発など、地域産業の新たな展開を支援するため、企業の持つ課題の解決や産学官連携を支援するコーディネート活動を実施する。また、新産業分野創出のための研究会を創設して事業の企画・運営を行うとともに、他機関が実施する新産業創出を目指す産学官連携事業に対して支援する。

### 1 コーディネート活動事業

技術開発・研究開発に取り組んでいる地域企業や大学、研究機関等をコーディネータが積極的に訪問し、企業ニーズ、技術シーズの発掘や課題把握を行い、産学官連携および産・産連携の研究会活動や共同研究などへ繋げるとともに、提案公募型助成制度の活用等を支援し、新技術・新商品開発、販路開拓等を促進する。

### 2 アグリイノベーション推進機構連携事業

信州大学農学部から提供された技術シーズを活用した新産業創出に向けた活

動を、伊那谷アグリイノベーション推進機構や地域の産学官関係機関等と連携して行う。

#### (1) 次世代工業化農業研究会

今後の農業における生産性向上、機能性向上、付加価値向上を図るための技術開発に着目し、大学、農業関係団体、栽培事業者、設備事業者が連携して具体的なニーズに基づいたテーマで事業を推進する。今年度も引き続き農業ICTの活用と農業センシング技術の開発を中心に取り組む。

#### (2) 信州機能性食品開発研究会

地域の特産物のもつ多様な機能性や、加工技術により機能を高める方法等に関する情報を提供すると共に、機能性食品の開発事例等を紹介する事によって、関連企業の新しい機能性食品の開発の活性化を図る。信州大学農学部と連携し、同大学の有する技術シーズ・リソースの活用による関連企業の効果的な新技術・新商品開発の促進を支援する。

### 3 飯田航空宇宙プロジェクトとの連携事業

航空宇宙産業集積の取組みにおいて飯田地域が抱える技術的課題を、長野県工業技術総合センターや他地域の企業や信州大学等を巻き込んで飯田地域と連携して解決することを通じて、航空宇宙産業集積を県内全域に波及させる。

- (1) 技術マッチング支援
- (2) 研究開発プロジェクトの企画運営支援
- (3) 展示会出展支援
- (4) 品質保証規格の取得支援

### 4 信州型温間複合プレス加工研究会

県下のプレス企業が最も得意とする順送プレス加工に加熱技術を複合させ、従来の順送プレス加工では困難であった材料の成形加工技術に取り組んできている。今後自動車業界をはじめ様々な分野で実用化が期待されており、昨年度から研究会として取組みを開始した熱可塑性CFRP（炭素繊維強化複合材料）シートのプレス加工について、会員企業、研究機関の有する固有技術を集積して技術開発に取り組む。

### 5 試作モデル構築事業

試作事業を通じて新技術や新工法を習得し、新産業の創出を図ることを目的とした研究会立上げのための支援を実施する。

### 6 スマート看護・福祉研究会

ものづくり連携支援事業のひとつとして昨年度までの3年間取組んだ研究成

果の事業化を目的として、リハビリテーション用の器具等が必要な病院、福祉機器を開発している企業、3次元スキャナーや3次元プリンターを使って商品開発をしている企業等の強みを融合させ、試作したリハビリテーション用の器具等の効果を病院で実証しながら、迅速・安価にオーダーメイドで製作するシステムを開発し、新たなリハビリテーション器具等の供給ビジネスを地域の新産業として創出することを目指す。

また、長野県看護大学や看護・福祉機器の製造販売会社及び介護施設等からのシーズやニーズ、関連法に関する情報の提供を行い、会員企業同士の共同研究に寄与する。

### Ⅲ 共同研究等推進事業

地域企業における新分野創出、新技術開発に向けた産学官連携による研究開発活動の円滑な推進を支援する。

#### 1 提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業

地域センターにおいて、コーディネート活動や研究会活動等により創出された研究開発プロジェクトに対し、研究に必要な資金の導入を支援する。

#### 2 提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業

採択された研究開発プロジェクトに対し、研究活動の推進、進捗管理を行う。

- (1) 回転軸の軸ガタ検出機能を付加した自己校正型ロータリエンコーダの開発  
(経産省サポイン事業・継続)
- (2) 高効率・高精度回転体型X線ミラーの製造技術の開発  
(経産省サポイン事業・継続)

#### 3 提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業

終了したサポイン事業の補完研究等について支援を行う。

- (1) 難接合材の固相拡散溶接による高機能部品製造技術・部品の開発
- (2) スプレー熱分解法を用いた省エネ省資源型鉛フリー抵抗体のプロセス開発
- (3) 電気自動車向け IGBT 用高性能ヒートシンク成形用金型の開発
- (4) 温間順送複合プレスによる難加工材の高効率生産技術開発

### Ⅳ 人材育成事業

地域企業における研究開発及びその成果の早期事業化に資する人材の育成を支援し、地域産業の高度化と新産業の創出を促進する。

#### 1 高度技術者育成講座

企業の技術者を主な対象としたセミナーを随時開催し、グローバルな競争力

強化に寄与できる人材の育成を図る。地域の大学や産業団体等と連携して、最先端の研究開発情報から製品・加工技術に至るまで幅広く取り上げる。

## 2 リサイクルシステム研究会

「天竜川水系環境ピクニック（河川敷清掃）」、「親子で水質調査」等の環境活動を地域企業・団体の協力を得て実施することによって、子供達の環境意識を育てると共に科学技術に対する関心を高める。

また、地域における廃棄物処理の3R（Reduce、Reuse、Recycle）事例についての調査研究を行い、その事例を共有化し地域企業等が水平展開することによって、廃棄物処理費用の削減や資源循環型社会づくりに寄与する。

## 3 子ども科学工作教室

子どもたちが地域企業や高校生と接しながら「モノづくり」を行う「子ども科学工作教室」を上伊那、下伊那でそれぞれ運営する「上伊那子ども科学工作教室実行委員会」、「下伊那子ども科学工作教室運営協議会」と協力し、子どもたちの科学技術への関心を高める活動を協力し実施する。

# V 広報等事業

当地域センター事業や各種経営情報の提供を行うと共に、地域企業と当地域センターとの効果的オンライン接点の形成を目指す。

## 1 情報発信サービスの充実

利用者の利便性を図るために、本部と地域センターの連携事業（セミナー等）や、国、県の研究開発支援制度などの情報をホームページに掲示すると共に、メールやFAXでもタイミング良く配信する。